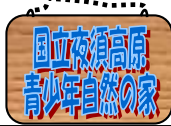


焼き杉の作り方



○焼き杉ってどんなもの？

焼いた杉板をみがき、自由に絵を描いて、ひもと金具をつけて完成です。おみやげとして壁掛けや置物に。

○活動場所は、野外炊飯場・キャンプファイヤー場などの屋外での活動となります。

○目安の時間は、2時間以上です。

※焼き板セットは、NO. 4からはじめます。

NO1 材料準備



(1) 団地で準備してもらうもの

- ① 焼き板セット(1人分 220円)
- ② 杉板セット(1人分 160円)
- ※薪(約20セットに1束300円)別購入
- ※ガス缶(20セットに1本程度必要)
- ③ カラーペイント
- ※現在はチューブタイプです。
- 青・赤・黄・白・緑・桃 各1色1本 160円
- (1本で約2~3人分・セットあり)
- ④ 布きれ又は雑巾
- ⑤ 軍手
- ※杉板セット、焼き板セット、ペイントは

(2) 貸し出しできるもの

- ⑥ ワイヤブラシ
- ⑦ 板切りノコ
- (板をカットする場合)
- ※杉板セットの場合
- なた
- バーナーヘッド、火ばさみ

NO2 杉板を焼くための火をおこします。



NO3 杉板を焼きます。



- ① 野外炊飯場のかまどで、薪から火をおこします。
- ※バーナーを使うこともできます。

【注意点】
・ナタで薪を割るときは、ケガしないよう十分注意します。

- ① 杉板の裏表を平均して焼きます。

【注意点】
・火を扱うときは、やけどなどに十分注意します。

NO4 焼いた杉板のすずを落とします。



- ① 金ブラシ等を使い、木目によって丁寧にこすります。

NO5 板を磨きます。



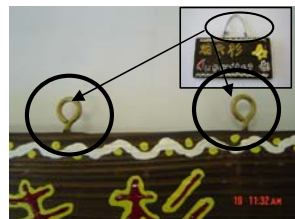
- ① 光沢がでるまで、布でよく磨きます。

NO6 好きな絵を描きます。



- ① カラーペイントで好きな絵や文字を書きます。
- ※

NO7 ヒートン(金具)・ヒモを取り付けます。



- ① ペイントが乾いたら、ヒートン(金具)を取り付けます。
- ※取り付け口が割れないように注意してください。
- ② ヒモをつけて、できあがりです。

NO8 後片付けをします。



- ① 杉板を薪で焼いた場合、かまどの燃え残りの消火をきちんとして、掃除をしてください。
- ② 焼き杉の落としたすすも、ホウキできちんと掃除してください。

